



かわいい



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/> (HP 随時更新中!)

少しずつ、ゆっくと

副校長 池田 千穂

まだまだ寒い毎日ですが、2月は立春を迎えます。今年の豆まきは124年ぶりに2月2日になるそうです。1984年は2月4日で、1985年からずっと2月3日が続いていました。「節分」は「立春」の前日にあたり、今年は「立春」が2月3日になるので、節分は2日になるということです。



「立春」を迎えると、これから春に向かって暖かくなっていきます。

この春に向かってだんだんと暖くなる様子を「三寒四温」という言葉で表します。三寒四温は3日寒い日が続く、4日暖かい日が続く、そうやって少しずつ暖かい日が増えて、春らしくなり、春が来るという意味です。中国大陸や朝鮮半島では実際にそのような気象状況がおきることからうまれた言葉ですが、日本でもよく使われます。

寒い日と暖かい日の行ったり来たりを繰り返して少しずつ春になっていく。芽吹き、花が咲き、暖かい風が吹き、一気に春が来るようで、実はゆっくりゆっくと、春に向かっているのです。大寒の今、草木は枯れて氷が張り、なんにも起こっていないようですが、少しずつ、ゆっくと春の準備をしているのです。

これは目標を決めて、そこに向かって取り組んでいく時も同じではないかと思えます。目標達成することはそうそう簡単に出来ることではないと思えます。出来たり出来なかつたりを繰り返し、少しずつ出来るようになるものです。また日々の少しずつの積み重ねを継続するからこそ目標に到達するのではないのでしょうか。だから、子ども達には目標達成のためにはあきらめず、あせらず、練習や努力を継続してほしいと思っています。自分自身で進歩や成長が見えなくても感じられなくても、続けてほしいと思えます。

今年は行事の見直しが余儀なくされて、子ども達の成果を保護者や地域の皆様に、例年通りにお見せすることができませんでした。子ども達自身も、認められたり、結果が出たりすることで意欲がもてるその機会が少なく、残念でもありました。でも、そんな中、自分なりに目標やめあてをもって日々少しずつ、ゆっくと続けていくことが大切かもしれません。ランナーズがなくても朝自分のペースで走っている子、九九を毎日唱えて早く間違えずに言えるように練習している子、縄跳びのビデオ発表のために自分の技を練習している子。子ども達は自分の目標やめあてをもって日々過ごしています。



私たち教職員は、子ども達の日々の取組や小さな前進にもしっかりと目を向けて支援と応援を続けてまいります。

さて、暦の仕組みは難しかったのですが、今年は豆まきをしようと思えます。「節分」で追い払う鬼は「災厄、疫病」のことで、それを豆で「魔滅」することに由来しているようです。そして、数え年の数だけ豆を食べると病気にならず健康でいられるらしいので、しっかり食べてみようと思えます。